

部局名	生涯学習部	所属名	男女共同参画課	所属長名	恵 芙久子	電 話	485-7088
-----	-------	-----	---------	------	--------	------	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4065		事務事業名称	男女共同参画推進事業					短縮コード	経常	4065	臨時	4066
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	男女共同参画費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		やちよ男女共生プラン懇話会設置要領 八千代市男女共同参画推進会議設置要綱 八千代市男女共同参画社会づくり啓発事業補助金交付要綱						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和60年3月総合計画に「高度な学習や研修が拡大され、多用な活動を推進する婦人及び婦人団体の活動の場となる婦人研修センターを建設する」と位置づける。63年4月教育委員会青少年課を青少年婦人課に改組し婦人係を新設する。平成元年6月女性研修センター（平成7年度までは婦人研修センター）設置により女性の地位向上などの主催講座を行う。平成5年度「八千代市女性施策に関する意識調査」を行い、平成6年度「第1次やちよ男女共生プラン」を策定し全庁的に事業を推進。平成12年度「第2次やちよ男女共生プラン・第1期実施計画」を策定し全庁的に事業を推進。平成17年度には、「第2期実施計画」の策定に向けて取り組み、18年3月に本計画を策定した。18年4月からは「第2期実施計画」に基づき、全庁的に事業を推進した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
事業実施当初に比べて、女性の社会進出は進んでいる。また、家庭・地域・学校・企業などにおいても男女共同参画は、少しずつ進んでいる。さらにDV対策をはじめとする人権尊重への取り組みや子育て支援、高齢者等への取り組みが行われているが、これらに対しては男女共同参画の推進が求められているところである。					大項目（節）	04	男女共同参画社会						
					中 項 目	01	男女共同参画社会						
					小項目（施策）	02	男女共同参画社会の促進						
					細 項 目	01	男女が平等に豊かに暮らすことができる環境の整備						
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成11年4月 ～ 平成18年3月			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	男女共同参画推進会議・幹事会の構成員、やちよ男女共生プラン懇話会委員 八千代市女性団体連絡協議会会員 男女共同参画社会づくり啓発事業参加者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 第2次やちよ男女共生プラン第2期実施計画に基づく事業の実施。八千代市男女共同参画推進会議・幹事会の開催。やちよ男女共生プラン懇話会を開催し、第1期実施計画に基づく5年間の事業実績からその評価を行った。女性団体への支援。市民参画の男女平等の意識づくりの推進。							
	※平成19年度に計画していること： 第2次やちよ男女共生プラン第2期実施計画に基づく事業の実施。市民意識調査の実施。市制40周年記念男女共同参画事業の実施。平成18年度業務の進捗状況調査の実施。八千代市男女共同参画推進会議・幹事会への報告。やちよ男女共生プラン懇話会への報告。女性団体への支援。市民参画の男女平等の意識づくりの推進。							
意図 （何を狙っているのか）	男女共同参画社会に関する施策の共通認識と意識の啓発に努める 男女共同参画社会づくりの必要性や男女平等意識づくりの推進							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	男女共同参画推進会議・幹事会委員の数。懇話会委員の数	人	31	31	31	31	
	指標2	八千代市女性団体連絡協議会会員の数	人	298	230	202	230	
	指標3	成人男女市民の数	人	148,233	148,816	149,814	149,703	
活動指標	指標1	推進会議・幹事会・懇話会の開催回数	回	5	3	3	3	
	指標2	女性団体のリーダー研修会及び交流会などへの参加者数	人	480	350	335	350	
	指標3	啓発事業参加者	人	130	130	538	200	
成果指標	指標1	この事業を通じて性別役割分業意識のような、固定的な考え	%				50	
	指標2	審議会等における女性委員の登用率	%	26.7	30	28.6	30	
	指標3	実施計画に基づいて実施された事業の割合	%	95.7	100	95.1	100	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4065	事務事業名称	男女共同参画推進事業				所属名	男女共同参画課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			男女共同参画課と男女共同参画センターの同一配置により、事務の効率化が図られているが、今後、職員の役割の見直し及び臨時職員の配置等を検討することにより、課とセンターの統合も考えられる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☒ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			課とセンターの統合が図られた場合は、職員の役割の見直し及び臨時職員の配置等により、コストの削減を図ることができる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
平成１５年３月定例会に、八千代市として男女共同参画を推進するための条例を制定する考えはないのか。男女共同参画を市長部局に設置する考えはないのか、と質問があった。また平成１５年６月定例会に、審議会等における女性委員の割合と数値目標、管理職における女性職員の割合の質問があった。さらに、平成１６年９月の定例会に、男女共同参画の施策を推進する部署が市長部局に位置付けられて庁内体制が整備されたことは評価する、さらに条例制定に当たり市民意識調査を行ってはどうか、その結果を踏まえて市民参加で条例制定することについての考えなどの質問があった。１８年度の男女共生プラン懇話会においては、市民と協働で推進する目的の男女共同参画社会づくり啓発事業の報告を聞いた委員から、「市民の発案・実施で行うことは良い、さらにこの取り組みが広がると良い」と評価された。									

所属長コメント	男女共同参画推進事業は「やちよ男女共生プラン」に基づく、家庭・地域・働く場等のあらゆる分野における男女共同参画の推進を目指すことである。しかし、現状では女性の社会進出のための環境整備や、子育て支援、高齢者等への介護支援、D.V.対策等々の対応が求められているところである。これに対して、第２期実施計画に基づいて実施された１８年度事業の割合は９５．１％であり、また審議会等における女性委員の登用状況は、目標値３０％に対して２８．６％であることから、さらに事業所管課への働きかけが必要である。第２期実施計画の中の取組には、社会の現況を踏まえ、男性の家庭生活や育児等への共同参画の取組や、また幼稚園児・保育園児における男女平等意識づくりの取組も盛り込まれ、実施されていることは時世に適っている。加えて、市民が企画・実施する男女共同参画社会づくり啓発事業は計画・実施団体も、その事業に参加する市民も増え、その効果が見られる。さらに、今後は課とセンターの組織と職員の役割を見直すことで、課とセンターが統合した場合は、事務の有効性や人件費のコスト削減を図ることができる。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			「男女共同参画センター運営事業」との統合により積極的に改革・改善を推進すべき					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☒ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									